

2 0 0 5 年 9 月 9 日

株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
2-5 F・Kビル  
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
広報部 03-3664-5697

## 外食市場調査を実施

- 外食産業全体市場は 2 0 0 5 年には 3 2 兆 0 8 7 0 億円の見込み -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、「外食産業マーケティング便覧 2 0 0 5」の市場データにより、日本の外食市場の全体動向を分析し、併せて注目企業 5 0 社の外食産業におけるポジションを分析した。その結果を調査報告書「外食企業マーケティングデータ(2 0 0 5 年の外食市場総括)」にまとめた。2 0 0 4 年の外食市場は 3 2 兆 1, 7 5 4 億円となっており、改善は見られるものの微減傾向にある。

### < 調査結果の概要 >

#### 1. 外食産業全体市場

##### 外食産業全体市場規模

2 0 0 4 年 3 2 兆 1, 7 5 4 億円 2 0 0 5 年見込み 3 2 兆 0 8 7 0 億円 (対前年比 9 9 %)

2 0 0 4 年の外食総市場は、前年比 0 . 8 % 減の 3 2 兆 1, 7 5 4 億円となった。外食産業は 1 9 9 8 年以来縮小基調で推移しており、2 0 0 5 年で 8 年連続のマイナスとなる見込みである。依然として市場全体ではオーバーストアの状況にあるため競合の激化はますます進んでおり、新規出店による拡大も見込みにくい状況が続いている。

ファーストフード、テイクアウト分野は微増で推移し、比較的健闘しているものの、市場規模の大きい料飲店、ホームデリバリー、給食分野はマイナス傾向に歯止めがかからない状況である。2 0 0 4 年になって光明が見え出したのが、ファミリーレストラン、喫茶、交通機関分野で今後徐々に復活していくと見られる。

##### 伸長率上位 5 カテゴリー

カテゴリー	2 0 0 4 年	2 0 0 5 年見込み	対前年比
ファーストフード	2 兆 3, 1 1 5 億円	2 兆 3, 6 9 2 億円	1 0 2 %
エスニック料理	4 3 3 億円	4 3 7 億円	1 0 1 %
テイクアウト	4 兆 6, 8 7 1 億円	4 兆 7, 3 2 6 億円	1 0 1 %
喫茶	1 兆 4, 0 9 7 億円	1 兆 4, 1 8 8 億円	1 0 1 %
ファミリーレストラン	1 兆 6, 7 8 2 億円	1 兆 6, 8 7 4 億円	1 0 1 %

2 0 0 3 年後半の鳥インフルエンザによる影響はほぼ払拭されたものの、2 0 0 3 年末のアメリカ産牛 B S E 問題は未解決のまま、輸入再開の目処が立っていないことから外食産業全体に大きな影響を与えている。しかし、ここ数年間のデフレ状況に変化が現れはじめ、ようやく外食産業全体で安売り一辺倒から脱しつつある。

また、厳しい状況下でも、M & A や積極的な新規出店によって規模拡大を図る企業が増えており、企業ごとの勝ち負けが一層際立つ傾向にある。これにより、一握りの上位企業への集約化は更に進行すると同時に淘汰される企業も増加している。

更に外食産業における立地の変動を見てみると、かつての一等地であった駅前商店街が廃れていき、ショッピングセンターや駅ナカなどの新たな立地が急成長するなど、外食市場は構造的な転換期を迎えている。

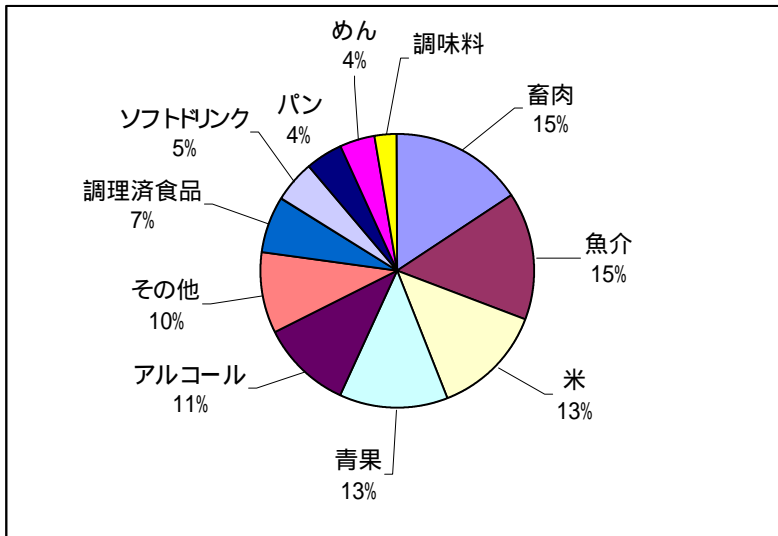
ファーストフードは、売上げ上位のチェーンが手軽さだけでなく食事としての満足度の高さを重要視するニーズを捉えることで、市場を拡大している。テイクアウトでは、C V S デリカの需要が高まっており、喫茶ではコーヒーショップが依然拡大を続けていることから市場も拡大している。ファミリーレストランはメニューの特性をアピールし、焼肉 F R が B S E 問題の発生後、国産や他の産地の牛肉仕入れに切り替えたことで単価が上昇し、客単価も上昇した事で市場が微増傾向となった。

## 2. 食材市場

### 食材全体市場規模

2005年見込み 1兆6,350億円

#### 食材市場構成（2005年見込み）



外食産業の食材市場は、2005年では、1兆6,350億円と見込まれる。食材の外食総市場に対する比率は、36%程度で、使用量の多い食材上位3品は、畜肉、魚介、米と見られる。業態別に見ると、食材比率が高いのは、給食業態で50%を超える。逆に食材比率が低いのは料飲店、レジャー施設で30%を下回る。

## 3. 注目業態

### アイリッシュパブ

2004年 13億円 2009年予測 18億円（対04年比 138%）

日本では、馴染みの薄かったアイリッシュパブだが、世界的には一般的な業態であり、自由で気軽な雰囲気好まれている。2002年に開催されたサッカーの日韓共催ワールドカップ時に、地元で「ギネス」とアイリッシュパブに親しんできた外国人がサッカー観戦に訪れた際にアイリッシュパブに大挙して来店したことで、「外国人客で賑わう店」として日本人にも注目され認知度が高まった。その事が、需要拡大の絶好の機会となり、市場が拡大している。

### 低価格ふぐ料理

2004年 77億円 2009年予測 153億円（対04年比 199%）

天然のとらふぐは高級魚の代表格である。冷凍技術の発達によって価格の安い時期に大量に仕入れることで低価格を実現する企業や、養殖技術の発達によって安定供給が可能となった養殖とらふぐを使用して低価格を実現する企業が現れるなど、低価格ふぐチェーンが台頭してきている。2003年以降は小規模店舗の積極的な出店を開始した「玄品ふぐ」が市場を牽引し、店舗数、売上高ともに拡大傾向にある。

#### < 調査項目 >

マーケットデータ分析	外食産業トータル市場、カテゴリー別市場規模推移、カテゴリー別シェア、主要メニュー別市場規模、食材市場規模、使用食材ランキング、客単価の変化
注目外食企業50社 (リーディングカンパニーの事例研究)	企業概要、経営指標、出店エリアと店舗数、企業コンセプト、チェーン別規模と市場でのシェア、チェーン別ポートフォリオ
全国外食企業800社リスト	企業名、本社所在地、チェーン別売上、チェーン別店舗数、備考
業態別成長性分析	2005年売上高・店舗数、平均市場成長率、平均店舗伸長率、2009年予測成長率、店舗当たり売上増減率、上位企業占有率
注目新業態	業態の変遷、上位企業の売上高推移、上位企業の売上・店舗数、各社の店舗展開の特徴、メニューの動向

<注目外食企業50社(リーディングカンパニーの事例研究)>

縮小推移が続く外食産業の中にあって、成長を遂げているリーディングカンパニー50社の「財務面」、「チェーンごとの出店戦略・売上規模」、「市場内でのシェア」を調査・分析して各企業の事業展開における強みを探った。

業態	企業名
ファーストフード	日本マクドナルドホールディングス、モスフードサービス、日本ケンタッキー・フライド・チキン、吉野家ディー・アンド・シー、松屋フーズ、ゼンショー、カップクリエイト、あきんどスシロー、くらコーポレーション、壱番屋、B-Rサーティーワンアイスクリーム、大戸屋、半田屋、ハイデイ日高、辛楽苑
テイクアウト	プレナス、ロック・フィールド、柿安本店、オリジン東秀
料飲店	ワタミ、三光マーケティングフーズ、チムニー、ヴィア・ホールディングス、コロワイド
ファミリーレストラン	すかいらーく、リンガーハット、サイゼリヤ、ジョイフル、サトレストランシステムズ、カルラ、サンマルク、フライングガーデン
喫茶	ドトールコーヒー、スターバックスコーヒージャパン
西洋料理	グローバルダイニング、日本レストランシステム、ピエトロ、東和フードサービス、ひらまつ、ワンダーテーブル
日本料理	タスコシステム、木曽路、梅の花、うかい
東洋料理	レインズインターナショナル
給食	シダックス、日清医療食品、グリーンハウス、メフォス、レオックジャパン

<調査方法>

弊社専門調査員によるヒアリング調査及び各種資料・オープンデータにより作成

<調査期間>

2005年7月～8月

以上

資料タイトル:「外食企業マーケティングデータ(2005年の外食市場総括)」	
体 裁	: A4判 286頁
価 格	: 80,000円(税込み 84,000円)
<関連資料・セット価格>	
「外食産業マーケティング便覧 2005上巻」	95,000円(税込み 99,750円)
「外食産業マーケティング便覧 2005下巻」	95,000円(税込み 99,750円)
「外食産業マーケティング便覧 2005上下巻セット」	180,000円(税込み 189,000円)
「外食産業マーケティング便覧 2005全巻セット」(3冊)	240,000円(税込み 240,000円)
「外食産業マーケティング便覧 2005全巻+CD-ROMセット」	250,000円(税込み 265,500円)
*CD-ROMは全巻セット購入者に限ります。	
調査・編集	: 株式会社 富士経済 東京マーケティング本部 第一事業部 TEL: 03-3664-5825(代) FAX:03-3611-9778
発行所	: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp
この情報はホームページでもご覧いただけます。URL: <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp">http://www.group.fuji-keizai.co.jp</a>	